



発行

海士町立海士中学校

住所 海士町大字海士九四四番地
TEL 08514(2)0744
E-mail ama-jhs@town.ama.shimane.jp

○年頭所感

三年生

瀧川 壮太

今年、入試があります。今年一番の目標は、受験に合格することです。そのために、特に国語と数学の勉強をがんばりたいと思います。また、僕は高校生になったら寮での生活になります。今までのように母に頼ることはできません。自分のことは自分でできるようにしたいと思います。それから、僕は人の話を聞いていないことがあります。後で何をしたらいいのかわからなくて困ることがないように、しっかり人の話を聞くようにしたいです。



保育実習

二年生の家庭科では成長と家族・地域という分野で保育実習に行っています。毎年二回の実施でしたが、今年度は三回を計画しています。一月二十二日に第二回目を行いました。今回は園児に喜んでもらえるよう、担当のクラスに合ったおもちゃを作り、活動しました。自分の予想していた反応と違ったり、考えていた遊び方と違う方法で遊んだり園児たちのパワーに圧倒されている中学生でした。普段と違う一面がたくさん見られる良い機会となりました。第三回目は二月二十日を予定しています。おもちゃを改良したり、遊び方を工夫したりなど、今回の実習を活かして臨みたいと思います。【河角】

二年 島根 千穂

本を見せると「もう終わりー？」や「もっと見たい！」と言ってくれる子が多くて嬉しかったし、もっとページ数を増やせば良かったなあとと思

いました。保育園の先生を見ると、本を見せながら「チョウチョウがパタパタ」と言うなど、自分でお話を作って読んでいたので、次は私もそういうふうになりたいと思います。すぐに絵本の部品が取れたので、もっと頑丈に直したいです。あと、女の子がいっぱい興味を示してくれたので、もっと喜んでもらえるようにしかけを工夫したいです。



「親の気持ち」

佃 貴人

学校現場に出て今年で十年目になります。これまで務めた学校の校長先生や先輩教員から、「一人ひとりを我が子だと思って生徒に接してほしい」とか「子供ができるように、生徒を見る目が変わるよ」とか、研修などで「自分のしている指導が我が子にされていると思っただけどう感じますか？」など我が子に関する話や問いがこれまでたくさんありましたが、正直「言いたい事は分かるけど、子供がいなから今一つピンとこないな」と感じていました。また、それはどんな感じなのか、とても興味がありました。

姉の子供が赤ちゃんの頃、あやしたり遊んだりすることはあっても、オムツを替えた時、子供が吐き出したものを拾って食べたりする光景は異様に映っていて「自分が父親になってもあればできないな」と思っていましたし、よだれや鼻水が出ていると、「おい鼻水がでてるけん、姉ちゃん何とかしてよ」と言うこともありました。そんな私にも一昨年子供が産まれました。不思議なもの

で同じことを平気でやれている自分がそこにいるのです。今では言葉も少しずつしゃべるようになってきた子供の成長が毎日とても楽しみでしようがありません。その時初めて、「我が子だと思っ...」という言葉の意味が理解できたように思います。中学生の時期は思春期、反抗期などと呼ばれ、とても難しい時期です。親の愛情を伝えようとしてもありますが、自分が理解できなかったようにほとんど生徒には伝わっていないのかなと思います。これから教員を続けていく上で様々な場面に遭遇すると思います。その時は「我が子だったらどうしてほしいだろうか」と考え行動していきたいと思えます。



全国学校給食週間一食の指導
